

プロローグ

「回す」と「ねじ」 Ⅱ 現代編 Ⅱ

日常生活で、「まわす」、あるいは「回す」、という動作は、頻繁に使われている。

「ねじ」を「回す」と締め、通常は、時計回り(右回り)で締める。逆に、緩めるときは、反時計回り(左回り)になる。一方、反時計回り(左回り)で締める「ねじ」もあるが、マイナーである。現在の左右に回す動作の規格化は、右利きの人が多数を占めるため、「ねじ」を右に回す動作が優先したためではないか、と推測されている。

「回す」のは「ねじ」で、右に回すのは、通常の鍵がもつ仕組みに由来する。ねじは、「螺子」、英語で screw・円筒や円錐の面に沿って螺旋状の溝を設けた固着具であるが、右に回すことが、ほぼ決まっている器具である。なお、「ねじを回す」は、英語で turn a key に当て嵌まり、「回す」の訳語は、turn になる。但し、こゝでは「廻す」という字句、英語の rotate には触れないことにする。

「ねじ」は、螺子(ねじ、らし)、「捻子」、「根子」、「螺旋」、と表記され、主に、別々の部材の締結に用いられる。また、回転運動と直線運動との変換などにも用いられる。

ボルトのように外表面にねじ山がある「おねじ」(雄ねじとも書く)とナットのように内表面にねじ山のある「めねじ」(雌ねじとも書く)がある。多くは、おねじとめねじの組み合わせで使用されるが、後者がなく、木材や薄い金属などの部材に穴を開けながら締結する、タッピングねじ、木ねじと呼ばれるものがある。木ねじはその名の通り、相手が木の場合のみ使用するので強度を必要とせず、焼入れはしていない。一方、タッピングねじは、焼入れをして強度を上げるので、鉄、樹脂等にも使用できる。形状として、木ねじの方がネジのピッチは若干荒く、先端の尖り方も鋭角で、また、頭の下の部分(首下)にネジの無い部分がある。木ネジの代用にタッピングネジは使用できる場合があるが、その逆は難しい。なお、両方と、基本的に下穴をあけて使用される。

これらの他に、ぜんまいやぜんまいを巻く装置もねじと呼ばれる。言葉の比喻として「ねじを巻く」とは、ぜんまいに動力を与えるところから、誰かを、何かを『追い込む』の意味として使われる。

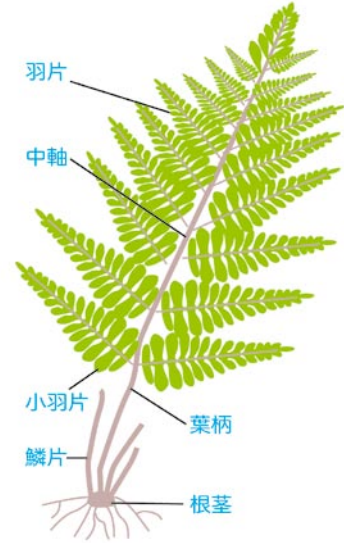


また「ねじ」は動詞「捩^ねぶ」の連用形(国文法で活用形の一つ)であり、「ねじ」の他に「ねぢ」と表記されることがある。長方形の一対角を直線で結び、この長方形を巻いて円筒とした時、対角線は「つる巻き線(helix)」と呼ばれる三次元曲線を描く。ねじは、このつる巻き線に沿って溝を形成している。

束ねて撻り合わせる 古代編

縄文時代の人々は、「縄」を土器の表面に当てて回転し、その文様を土器に残した。当時の縄は、シダ植物の「リョウメンシダ」(両面羊歯)の葉柄(葉と茎を繋いでいる部分で、強靱な素材となる)を束ね、捻^{ひね}って撻^より合わせたもの、と推測されている。

おそらく、古代の人々は、前項で考察した「回す」のように、撻り合わせて「捻^{ひね}る」と



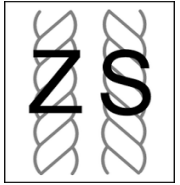
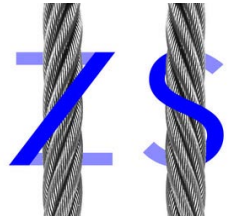
シダ 各部位の名称

いう作業に屢々携わったのではなからうか。そこで、前項の現代編で考察した「回す」と同様に、撻り合わせて「捻^{ひね}る」という動作について考えてみよう。

茎などを束ねつつ撻り合わせるとき、現代編の「回す」の作業では、一方的に右回りだったが、対する古代編では、双方となることに注目したい。

束ねた茎状の素材を右に捻^{ひね}って撻り合わせると、縄の撻^よりが S に見えるので S 撻^より、右撻^よりとなり、束ねた茎状の素材を左に捻^{ひね}って撻り合わせると、縄の撻^よりが Z に見えるので Z 撻^より、左撻^よりとなる。

「ひねる」、「よめる」を漢字にすると、
 捻^{ひね}る／撻^{ひね}り 撻^よる／撻^より



両面シダ
引用 ウィキペディア



現代の縄
引用 ウィキペディア

縄文土器の文様は次第に装飾的になり、今から五千年前のころ、右と左に捻つてよられた二本の縄を原体として、交互に回転して施文するようになる。これを考古学では、「羽状縄文土器」と呼称した。甲乙の双方が回る弓の矢羽に例えたものである。

上述したように、右オンリーの現代編に対して、縄文は左右が同等に扱われている。

参考資料 「ひらめきの散歩道」 windhammer42.cocolog-nifty.com

第77話 右撚り・左撚り

index

捻る ^{ひね}	6・7	捻す	4・6	右撚り	6	捻子	5
反時計回り	4	まわす	4	・N		根子	5
左回り	4	めねじ	4	縄の撚り ^よ	6	振つ ^ね	5
左撚り	7	雌ねじ	5	ねじ	4・5	右撚り	6
helix	5	右回り	4	ねぢ	5	・O	
撚り ^{ひね}	6・7	木ねじ	5	螺子	4・5	おねじ	5

雄ねじ	5	タッピングねじ	5	撚り合わせる	6	・Z	
・S		時計回り	4	撚る ^よ	6・7	N撚り	7
screw	4	つる巻き線	5	・R			
S撚り	6	・Y		両面シダ	6		
・T		葉柄 ^{ようへい}	6	・U			
束ねる	6	撚り ^よ	6・7	羽状縄文土器	7		